

# しんじょう市議会だより

No.120  
2013.5.13



- ・新年度予算決定
- ・一般質問は11名
- ・平成24年度政務調査の報告
- ・議会報告会は5月16、17日

読み聞かせ始まる  
日新小1年3組

平成24年度一般会計は7億6,433万円を追加し、

# 総額156億5,780万6千円となりました。

## 本会議の審議から

2月臨時会、3月定例会に市長から出された案件は、平成24年度新庄市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認についての報告等2件、新庄市教育委員会委員の任命について、新庄市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について、新庄市市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について等議案30件、合計で32件でした。慎重審議の結果、原案のとおり、1件承認、1件了承、30件可決しました。一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに7億6,433万円を追加し、総額156億5,780万6千円となりました。

新年度スタート  
あわてねで  
ケガなどすねで  
励めよ。なつ



### 表紙写真を募集します

1. 募集内容 新庄市の行事や風景等で、必ず人物が写っている写真作品。

2. 応募規定 写真は、次の①～⑤全てに該当するもので、各時期の議会報につき1人2点まで応募できるものとします。

①応募者本人が新庄市内において撮影したもの。  
②他の媒体などに応募しているものの。(未発表のもの)

3. 応募方法 新庄市内在住、又は勤務地等縁のある方。

4. 応募資格 応募票(別紙)に必要事項を記入し、データ

受付先 新庄市議会事務局  
(新庄市役所3階)  
電話 0163-23-5002(直通)  
メール gjkai@city.shinjyoyamagata.jp  
※詳しくはHPをご覧ください。

### 3月定例会の経過

3月4日(月)	開会
5日(火)	一般質問 (一般質問6名)
6日(水)	一般質問 (一般質問5名)
7日(木)	常任委員会 (産業厚生) (総務文教)
8日(金)	常任委員会 (総務文教)
9日(土)	休会
10日(日)	休会
11日(月)	予算特別委員会
12日(火)	予算特別委員会
13日(水)	予算特別委員会
14日(木)	休会
15日(金)	予算特別委員会 (本会議準備のため) 最終日

## 2月臨時会で審議された議案等

種類	番号	件 名	結果
<b>【市長提出】</b>			
報告	第1号	平成24年度新庄市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認について	承認
議案	第1号	新庄市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第2号	新庄市特別職の報酬等審議会条例等の一部を改正する条例の設定について	可決
<b>【議会提出】</b>			
議会案	第1号	新庄市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第2号	新庄市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	第3号	新庄市議会公務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決

## 3月定例会で審議された議案等

種類	番号	件 名	結果
<b>【市長提出】</b>			
報告	第2号	新庄市土地開発公社の経営状況の報告について	了承
議案	第3号	新庄市教育委員会委員の任命について	可決
	第4号	新庄市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について	可決
	第5号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第6号	新庄市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第7号	新庄市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第8号	新庄市市道の構造の技術的基準等を定める条例の設定について	可決
	第9号	新庄市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の設定について	可決
	第10号	新庄市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第11号	新庄市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第12号	新庄市障害程度区分判定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第13号	新庄市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決
	第14号	新庄市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決
	第15号	平成24年度新庄市一般会計補正予算(第9号)	可決
	第16号	平成24年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決

第17号	平成24年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決
第18号	平成24年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第19号	平成24年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第20号	平成24年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第21号	平成25年度新庄市一般会計予算	可決
第22号	平成25年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第23号	平成25年度新庄市交通災害共済事業特別会計予算	可決
第24号	平成25年度新庄市公共下水道事業特別会計予算	可決
第25号	平成25年度新庄市農業集落排水事業特別会計予算	可決
第26号	平成25年度新庄市営農飲料用水事業特別会計予算	可決
第27号	平成25年度新庄市介護保険事業特別会計予算	可決
第28号	平成25年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第29号	平成25年度新庄市水道事業会計予算	可決
第30号	平成24年度新庄市一般会計補正予算(第10号)	可決

### 【議会提出】

議会案	第4号	新庄市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第5号	TPP交渉参加反対を求める意見書の提出について	可決

### 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
TPP交渉参加反対に関する件について	新庄市沖の町5番55号 新庄市農業協同組合 経営管理委員会会長 伊藤 浩栄	清水清秋 小嶋富弥 小野周一	採択
TPP交渉参加反対に関する件について	舟形町舟形273-1 新庄もがみ農業協同組合 代表理事組合長 安食 賢一	石川正志	採択
危険な垂直離着陸輸送機オスプレイの配備及び低空飛行訓練計画の撤回を求める意見書の提出を求める請願(平成24年請願)	新庄市松本609番地の5 佐藤 忠志	佐藤悦子	不採択

### 提出した意見書

◆ TPP交渉参加反対を求める意見書

新庄市教育委員会  
新庄市十日町  
武田 一夫  
494番地

3月4日の定例会初日に同意された委員を紹介します。

ひとのうごき

会場 新庄市民プラザ  
3階 小ホール  
日時 6月24日(月)  
午後7時~8時半

どう変わらるのかを聞いてください。そして市民の皆様の声を聞かせてください。

「新庄市議会基本条例(素案)」の市民説明会を開催します。

新庄市議会は変わります。

## 予算特別委員会

# 11億2,800万円増の 万円となりました。

A 管理のあり方は、用地について  
Q 移転する日新学童保育について管理は市で行うのか。何年間使う予定か。

**一般会計(歳入)**  
A 国で生活保護基準を見直すということですが、どういうふうな見直しがされるか情報は入っていないという状況です。

**生活保護費について**  
Q 生活保護費の削減についてお伺いします。

**一般会計(歳入)**  
A 現在の整備延長は47.61kmです。第2次の計画では整備延長を91.91kmとしていますので、整備状況は51.8%となっています。

平成25年度一般会計、各特別会計(7件)、水道事業会計予算を審査するため、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月11日、12日、13日の3日間、慎重な審査を行いました。それでは、話し合われた中から主なものをお紹介します。

ついては県から借り受けることとなります。建物については3分の1程度を借りるといふことになります。借り受ける部分については市で管理し、残りの部分は県の財産なので県が管理するといふことで検討していきます。借り受ける期間については、10年程度と考えています。

**雪総合対策事業について**  
Q 流雪溝整備の現在の進捗状況はどの程度か。

A 短期計画として26年度まで5.29km予定していましたが、実際は47.61kmと計画どおりに進んでいないという状況です。

**生活道路排雪事業費補助金について**  
Q 生活道路を自分たちで除雪するという市民への補助金はないか。

タのレセプトをチェックをしておりますので重複受診のケースはありません。薬物関係についてもレセプトで確認しながらケースワーカーが適正な指導を行っています。

交通指導員と交通安全指導専門員の違いは、

**交通安全指導員について**  
Q 交通指導員と交通安全指導専門員については主に学童、園児等の通学の際の交通秩序と事故防止のため市が選任しています。交通安全指導専門員については県の決まりに基づき、高度な専門知識を持った上で交通安全指導にあたっている方です。

**そばまつりについて**  
Q 24年度と同じような予算の内容だが、どのように行うのか。

A 新年度になつてから寒行委員会を立ち上げ、会場などについてを協議していく予定です。

**地域づくり支援事業について**  
Q 地域づくりの交付金というのはどういう内容か。

A 地域づくり支援事業の中の新しい部分です。地域のリーダーを育成していくとともに、地域の中で様々な課題を整理し、その中で新たな課題を見つけて解消していくための事業に対する交付金です。

**そばまつりについて**  
Q 24年度と同じような予算の内容だが、どのように行うのか。

A 会場については様々な意見をいただいているので、実行委員会で協議しながらより良い方向になるようにしてい

**放課後児童対策事業について**  
Q 生活保護受給者は医療費が無料であることから、医療機関の重複受診が多いと聞くが、その際に危険な薬の組み合わせとなることはないか。

**民生費について**  
Q 生活保護費については地域づくり支援事業の新しい部分です。地域のリーダーを育成していくとともに、地域の中で様々な課題を整理し、その中で新たな課題を見つけて解消していくための事業に対する交付金です。

**そばまつりについて**  
Q 24年度と同じような予算の内容だが、どのように行うのか。

A 会場については様々な意見をいただいているので、実行委員会で協議しながらより良い方向になるようにしてい



# 一般質問

一般質問は、3月5日と6日の2日間、11名の議員が行いました。質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

## 3月定例会一般質問の質問者と質問事項

### 奥山省三

1. 第3セクターについて
2. 空き家条例について
3. インバウンド事業について

### 佐藤義一

1. 空き家条例の効果を問う
2. 通学バスの運行について
3. 側溝管理について
4. インバウンドに対する提言

### 小嶋富弥

1. 市政執行について
2. 新庄まつりについて
3. 新庄市民歌について

### 佐藤卓也

1. 子育て支援の推進について
2. 新庄市エコロジーガーデン利用計画について
3. 交流人口拡大について

### 小関淳

1. 人口減少が加速している現在、地域（集落）をどう維持し、再生していくとしているのか。
2. 災害時の地域情報をタイムリーに伝えるためのツールはあるのか。

3. 市民協働や透明性の確保という意味で、職員採用の面接官に民間人の登用を考えはどうか。

### 小野周一

1. 街づくりについて
2. 農業振興について

### 伊藤操

1. 地域包括支援センターについて
2. 市民の健康づくりについて

### 佐藤悦子

1. 住み続けるなら新庄市と言えるような、福祉施策の充実について
2. ごみ袋について
3. 雪対策について
4. 教育とスポーツに体罰と暴力の指導は根絶すべきではないか

### 新田道尋

1. 再生可能エネルギーの導入に関して

### 山口吉静

1. 市女性職員を幹部に登用することについて
2. 小・中学校の英語活動の現状と課題について
3. LED照明で明るく節電・コスト削減について
4. 電線類地化について
5. 高齢者の入浴等について
6. 教職員の体罰について

### 高橋富美子

1. 防災・減災対策について
2. 学校耐震化について
3. 学校給食のアレルギー対応について

## 市が出資している第三セクターの経営状況について

◎市が出資している第3セクターの中には、22年度23年度と大きな赤字になっているところがあり、債務超過にもなっているところもあります。どのようにお考えですか。

### 市長

地方分権改革が推進さ

れる中、地方公共団体では第3セクターの経営状況が著しく悪化し、出資者である地方公共団体への悪影響が生じないように注意していく必要があります。本市では第3セクタ



奥山省三



が行われるように注視していきます。◎1月より空き家等の適正管理の促進に関する条例が施行されたが、空き家について現在の状況はどうなっているのかお伺いします。市長 空き家条例施行後の空き家に関する市民からの問い合わせは、2月22日現在で42件ありました。豪雪だったこともあり、毎日のように空き家の屋根雪等に関する苦情や要望があり、その対応にかなり苦慮したところです。問い合わせのあつた件のうち、所有者の判明しないものや、対応を拒否されるものなどがあり、市において当面の危険回避措置をとったものもあります。来年以降も同様の状況が懸念されますので、ケースを整理し、今後の対応指針を協議していきます。



佐藤 義一

## 遠距離通学の児童の冬季間通学バスの運行を問う

◎夏場と違いすぎる遠距離通学児童のため冬期間だけでも通学バスの運行を考え、検討いただけないか。

### 教育長

児童・生徒の安全な通学のために、PTA役員や学校長と検討を重ねてきており、スクールバスの運行地域拡大にも取り組んできました。スクールバスの運行には学校統廃合、距離などの要件があり、どこでも運行できるわけではありません。しかし、中には通学条件が厳しい地域がありますので、距離的には小学校概ね3km、中学校5kmを目安として、平成27年4月頃を目途に通学用のバスを走らせるなどを検討しています。

冬期間の運行についても、通学条件の厳しいところについて併せて検討していくと考えています。



### 市長

◎住宅地内の土側溝の解消と、冬場に水が流れない側溝の解消に向けての検討を問う。

住宅地内の土側溝、いわゆる法定外公共物の側溝の整備かと思われますが、全ての法定外公共物を市が維持管理、改修していくことは困難なため、沿線の町内または利用者等にお願いせざるを得ない現状です。今後害虫等の駆除や生活環境の改善方法を地域の皆さんや衛生組合長さんなどと相談しながら解決策を検討したいと考えています。また冬期の側溝は、自然取水されたものが複数の経路や、気温・降雪量の自然条件などにより必要な地域まで届かない状況になっています。今後流雪溝整備の完了した地域から最上川の水を送る導水施設整備により、安定的に水利用ができるように進めていきます。

◎国の大型補正予算と安倍政権の13年予算案をどう判断し、市の住みよいまちづくりを図るのか質問します。

### 市長

国においては1月の第1号補正予算が大幅な増額補正となっています。この補正予算に基づく補助制度や地方債については、当初予算に基づくものより有利なため、本市においては国の補正予算に呼応した補正予算を組んでいます。緊急速報システムの構築、市施設の耐震診断、新庄中学校体育館改築事業などに取り組みます。また、2013年度予算については、国の方針に配慮しつつ、財政健全化を推進し、これまで以上に節減の意識を持つとともに、市民生活の向上についての基準を、その優先度や緊急度、政策的意図の観点において実



小嶋 富弥

## 誇らしいさや新庄市のまちづくりは

◎新庄が県内で5番目の市として誕生した昭和24年に作られた市民歌を、多くの方に愛されるように普及・啓発し、市内の小中学校でもふるさと教育の為に指導をもつと図っては施判断を行い、進めていきます。

◎新庄市民歌（昭和24年5月制定）  
作詞 安藤君一 作曲 一郎義徳  
三、最上の流れ 水清く  
希望のかけを うつしつ  
新興都市の 意氣高く  
行きんたり わが郷土  
たたえん いざや新庄市  
歌わん いざや新庄市



### 教育長

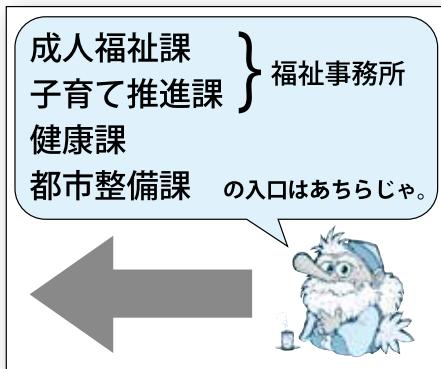
市民の皆さんへの市民歌の浸透を図るために、これまで市主催の各種行事において、可能な限り齊唱をプログラムに取り入れるようにしてきました。また、平成22年4月には、新庄ロータリークラブより市民歌の歌碑を寄贈していただきなど、関係機関や団体の協力もあって、少しずつですが理解が広がってきていました。小中学校に対しても、授業や学校行事などで市民歌を歌うことを奨励し、市民歌に親しみ、歌えるよう指導を依頼しています。

# 豊かさが実現できる場に

◎今年の4月より福祉事務所が、子育て推進課と成人福祉課に分かれますが、これから体制をどのように整えていかれるのですか。

**市長** 国では子ども・子育て関連三法が施行され、平成27年度からの本格施行に向け、各制度の細部の検討が行われています。これを受け、市としても子育て支援を一元的に所管する体制が必要となります。このことから平成25年度より福祉事務所を成人福祉課と子育て推進課の2課体制に組織改編します。保育部門、教育部門、福祉医療部門の児童期の子育てに関する窓口の一本化を図り、子ども・子育て三法における新しい制度の推進を子育て推進課で担当します。また、幼稚期から引き続き、学校在学中、就学終了

佐藤 卓也



成23年に第2期の利用計画を策定し、環境保全や循環型社会の実現に向けて事業、有機農業の推進、農業公園の整備などに取り組んできました。第3期は、「農業振興」や「景観保全」のほかに、新たに「観光交流の拡大」の視点で、より具体的な事業・施策を盛り込んだ利用計画となっています。計画の実施については、施設の維持・保存を基本に、さまざまな利活用に対応できるよう整備も順次進めています。

## どう創る！ 地域再生の土台

◎中山間集落を再生・維持していくための「土台」として用水路などを利用した小水力発電などの再生可能エネルギーが必要だが、市長はどうに考えていくか。

**市長** 本市は盆地地形であり、最上川の水を農業用水や消流雪用水として利用しているとおり、水資源が決して豊富な地域ではありません。しかし、水量や落差など小水力発電の可能性のある箇所が農業用排水路の一部に見つかっています。しかし、これらの箇所は農業用排水路としての使用目的があり、発電事業に活用するには許可水利権の問題や送電、導入費用などの課題もありますので、今後とも、施設を管理する土地改良区の取り組みを注視していきたいと考えています。



小 関 淳

◎混迷の時代だからこそ、より住民のために貢献できる感性豊かで柔軟な職員を採用する必要がある。採用の透明性を確保する意味でも、面接官に民間人を登用してはどうか。

**市長** 優秀な人材を確保するために試験日を上級初級に分けて実施したり、2次試験を重要視して「面接、作文、集団討論の試験を取り入れたりしています。「面接」は、民間の方も含めた複数の面接官で行っています。「集団討論試験」では、受験者同士が議論することで発想力、リーダーシップ、協調性などを多方面から判断できるような内容にしています。今後も、高校や大学への受験案内・広報の強化に努め、試験内容にも独立性を出すようにして、将来を担う優秀な人材の確保に努めます。



小野 周一

## 土地利用の基本的な方針について！

◎本市の都市計画の基本である、都市マスター・プランは平成8年の計画策定以来、社会、経済情勢が大きく変化してきた長い経過の中で、計画の見直しがされておりません。今後本市の街づくりを進める上で土地利用に関する各種計画との整合性を常に図るべきであり、各種計画の見直し年次と目標年次を勘え調整された計画策定をすべきである！

市長

本市の都市マスター・プ

ランは、平成8年から20年間の永きにわたるもので、中間年での見直しや計画内容に大きな変更を要する場合は、適宜見直すことになっています。また、都市マスター・プランは、市の振興計画や県の都市計画区域マスター・プランに即して定められます。市の第4次振興計画は平成23年にスタートし



たところであり、県のマスター・プランも、平成12年に平成32年を目標年次として策定されていますので、現在のマスター・プランは、中間年である平成17年に見直す大きな変更、要因がなかつたということで、見直しを行つてきました。基本的には国土利用計画、都市計画、農振地域整備計画それぞれが足並みを揃えて計画策定をすべきですが、各計画の見直し年次や、必要とする変更の要件もそれぞれ異なるため思うように取り組めないのが実情です。しかし、これから都市計画の見直しについては、農振地域整備計画、国土利用計画等と整合性の取れたものにしていくため計画期間、中間見直し時期を考慮していくたいと思います。



伊藤 操

## 市民の健康づくりの輪を広げるために

◎将来にわたり健康を維持するためには広い世代で健康に対する意識付けが必要です。啓発活動を更に積極的に行うべきではないでしょうか。

市長

本市では、平成16年に

健康づくり計画第1次計画を策定し、生活習慣病の予防に主眼を置き、「食生活改善と運動」を重要課題として位置づけています。25年度は、第2次計画として「健康寿命の延伸」を主眼として策定していく予定です。健康づくりは地域からという理念の下に地域リーダーを育成していくことを主要事業の一つとして実施します。その他にも、出前講座など地域における健康教育や広報等を活用し健康寿命の意識啓発を図っていきます。

◎地域包括支援センターは、全国的に予防プランセンター



化しているとの課題が挙げられていますが、本市の状況はいかがでしょうか。又、地域（生活圏）のニーズは把握できているのでしょうか。

市長

地域包括支援センターは、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、必要な援助、支援をさまざまな面から総合的に行う機関です。現在、相談の内容も多様化・困難化しており、問題解決まで長期化することも増えてきていますし、多忙化してきていますが、相談や支援業務など本来業務がおろそかになるようなことはありません。また、包括支援センターは1箇所ですが、人員的には市の基準を満たしていません。また、3ヶ所の在宅介護支援センターも設置されていますので、お互いに連携を図りながら業務を行っています。

# 住み続けるなら新庄市と言えるように

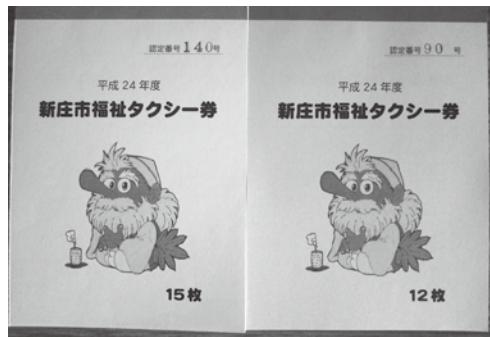


佐藤 悅子

◎市財政がよくなつてきたのだから収入が減つて苦しむ市民にタクシー助成の拡充や福祉灯油、はり・灸マッサージの助成、紙おむつ支給拡大などで還元すべきではないか。

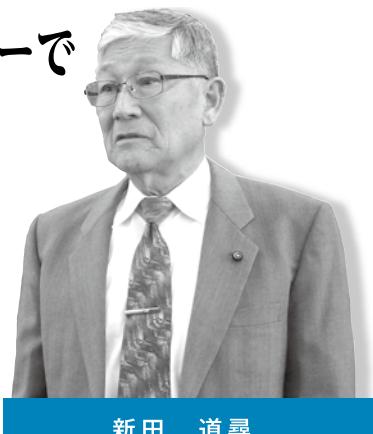
**市長** 高齢者や障害者の方々の移動手段の確保については、市内交通網の整備も課題と捉えていますが、タクシー券の給付については、制度の趣旨と財政上のバランスを考慮して現在の制度を維持していくたいと考えています。次に灯油については、今後の価格の動向が不明であり、現時点での市単独での給付は想定ていません。紙おむつの支給についても、介護保険を使った事業であり保険料にも影響するため支給対象の拡大は行わず、現在の取り組みを継続していきます。鍼灸マッサージ

券の復活については考えていません。  
◎道路除雪の雪を家の入口前におかないよう配慮する世帯を増やせるのではないか。生活道路の排雪補助の活用状況はどうか。尾花沢市は、生活道路の排雪も市が行っている。



市長 除雪した雪を玄関前などの出入口に置かないでほしいとの声は聞いていますが、限られた時間内で通勤や通学路の確保が必要なため、沿線住民の方々に理解と協力をお願ひしているところです。しかし、配慮が必要な方々に対しては、極力排雪した雪を置かないように委託業者に指示しています。生活道路の排雪補助については、制度制定の初年度で、利用実績や利用者の意見を積み重ねて効果の分析や補助増額の必要性の有無を判断したいと考えています。

# 萩野地区小中一貫教育校の冷暖房は再生可能エネルギーで



新田 道尋

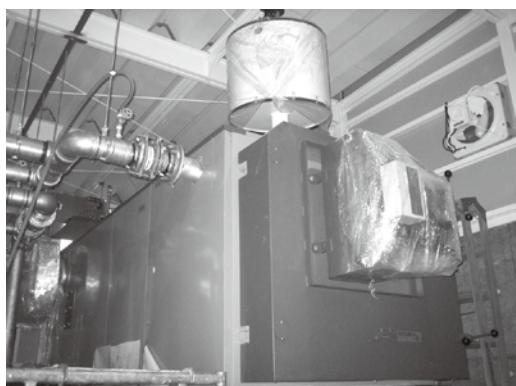
教育長 萩野地区小中一貫教育校での冷暖房設備機器への

◎東京電力原発事故の恐怖から、脱原発、省エネ、節電を心がけるべきだ。料金が最も高い石油による発電は二酸化炭素による環境汚染を起こすため極力抑える事が必要とされている。萩野地区小中一貫教育校の冷暖房設備は、電気ヒートポンプを採用したが時代逆行のシステムである。即

設計変更をして国が促進している再生可能エネルギーにするべきと思うが。

**市長** 新たな再生可能エネルギーの導入、活用についてはさらなる技術革新が必要であり、送電網の整備や法規制の課題など諸条件の整備とともに省エネルギー対策にも引き続き取り組んでいく必要があります。

再生可能エネルギー活用については地中熱利用ヒートポンプ、生チップボイラ、雪冷熱利用冷房についてイニシャルコスト・ランニングコスト及び設備更新等を含めた30年間のライフサイクルコストとして比較し、産廃物の処理、管理の複雑化など問題点も考慮して検討してきました。特に生チップボイラは、その特質上24時間稼動している施設への導入では有効ですが、立ち上がりに時間が要し、灯油等を使うバックアップボイラの併用が必要となるなど学校施設への導入には課題が多いようです。結果として、「コストと管理の面からチップボイラ等の導入を見送ること」とし、太陽光発電を中心にして再生可能エネルギーの活用をしていきたいと考えています。





山口 吉靜

## 中心市街地の電線類地中化

◎新庄まつりにおける山車や神輿渡御行列の見栄えをもつと良くするため中心市街地の電線類を地中化してはどうか。

**市長**

電線類地中化事業は、

経て地方ブロック無電柱化協議会により対象の要件を総合的に判断され、実施の計画が取りまとめられます。このため計画策定においても関係機関との合意形成の可否や、費用対効果の検討が不可欠であり、現在のところ新たな電線類地中化事業は考えていませんが、通行空間を確保することは、電線類の統合化等の手法によつても可能と思われます。

◎「LED照明は、蛍光灯と比べ、明るい、節電効果がある、長寿命である、発熱が少ない、有害物質を含まない、虫が寄

り、現在のところ新たな電線類地中化事業は考えていませんが、通行空間を確保することは、電線類の統合化等の手法によつても可能と思われます。

**市長**

LED照明は、メリットも多く、町内会からの要望に基づく防犯灯の新設にあたっては、平成23年度以降LED灯を採用しています。本市には現在約3,800灯の防犯灯があり、これを一度に切り替えようとしていると1億5千万円の経費がかかりります。しかし、LED灯に対する町内からの要望は今後ますます増えていくものと思われ、環境負荷の軽減のためにも交換していく必要があると考えています。25年度は、さまざまな効果の検証を実施し、新エネルギー分野の補助事業の活用やモルタル地区設定等の検討や調査を行い、計画的な事業実施に取り組んでいきたいと考えています。



りにくい、など多くのメリットがある。街灯をLED照明にしてはどうか。

市長 LED照明は、メリットも多く、町内会からの要望に基づく防犯灯の新設にあたっては、平成23年度以降LED灯を採用しています。本市には現在約3,800灯の防犯灯があり、これを一度に切り替えようとしていると1億5千万円の経費がかかります。しかし、LED灯に対する町内からの要望は今後ますます増えていくものと思われ、環境負荷の軽減のためにも交換していく必要があると考えています。25年度は、さまざまな効果の検証を実施し、新エネルギー分野の補助事業の活用やモルタル地区設定等の検討や調査を行い、計画的な事業実施に取り組んでいきたいと考えています。

高橋 富美子

## 学校給食のアレルギー対策について



**教育長**

平成24年度における

市内小・中学生の2.9%が何らかの食物アレルギーをもつという実態でした。アレルギーを起こす食品も、牛乳、卵、エビなど多種にわたっています。食物アレルギーによる事故がありました。故から子どもを守る手立てとして、子どもの実態把握を確実に行い、程度によつてはかかりつけ医の診断書を提出してもらっています。そしてこの情報を教職員や子どもと共にあります。給食メニューによって、代替食や除去食を事前に保護者に連絡もします。給

食は、調理前の確認、検食時の確認配膳後の確認など幾重もの確認をしています。食物アレルギーのある子どもへの対応については、文科省からの指針をもとに各学校で決めていますが、今後市全体でのアレルギー対応マニュアルの策定を検討しているところです。

◎防災会議の開催、また委員の選任についての進捗状況についてお伺いいたします。

市長 防災会議の開催には未だ至っていないませんが、委員の構成等については役職だけでの枠にどどまらず、幅広い範囲から選びたいと考えています。特に女性の視点を生かした防災対策は大変重要なことですので、条例の改正を踏まえ積極的な登用を考えています。



## 開成の会

○7月17～18日  
「地域起こしの取り組み」

奥山 省三、小関 淳、  
新田 道尋、遠藤 敏信、  
沼澤 恵一、伊藤 操

○4月17日

地方議員セミナー

(第一法規主催 仙台市)  
「東日本大震災と自治体  
財政」

講師：吉田 寛氏

千葉商科大学院教授・  
公認会計士・公会計研  
究所

講演題旨

①代表がなければ課税はない。  
子供から票を託された代表は  
いない。税収の範囲内で財政  
は運営されなければならない。  
②環境は継承財。私たちが繼  
承した状態で次世代に伝える  
ければならない。

つまり、政治は（公会計の  
運営は）子供にツケをまわさ  
ない！ということが基本で、  
税は、納める人が払つてよか  
った、と納得できる使い方を  
すべき。良い使い方をする代  
表を選ぶことが何より肝要な  
ことだ。

## 糸の会

清水 清秋、小嶋 富弥、  
森 儀一、山口 吉靜、  
佐藤 義一、石川 正志

十日町市は人口58,800人、全  
国有数の豪雪地帯で積雪は通常2～3m。雪祭り

（新潟県十日町市）

○平成24年8月7～8日  
(秋田県仙北市)

インバウンドによる観光産業の活性化

内容

人々がその土地を訪れる大きな動機は、何と言つてもそこに魅力があるからである。仙北市角館の場合、住民行政が一体となつて直接の観光資源（生活環境）に磨きをかけている事が特徴である。例えば、武家屋敷通り、ここは県道であるが、シダレザクラを中心とした木々には、全て市

が保険を掛けている（落雪による通行車両への被害に対応するため）。また、除雪も武家屋敷の垣根の景観を損なわないよう注意している。そして、市にサクランボを管理する部署を設置し、シダレザクラと松木内川堤のソメイヨシノの桜並木を管理している。松木内川堤のソメイヨシノは80年経過して、既に、老木の域

に達しているが、花が終わると地元の中学生がお礼の肥やしを撒くそうです。「ここにしかねばならない」、「ここにしかない」。言わば故郷への愛着心、誇りが脈々と次代に継承されており、歴史と文化のまちづくりの源になつてゐる。訪れた人々を感嘆せしめるのは、景観の美しさだけではなく、住民の気概も大きな要因に違いない。（新庄祭りにおいて、自らの時間も顧みず、祭りを盛り上げようと日夜奮闘している全ての人に対する敬意を表しながら）

○平成25年2月19～20日  
(東京都永田町) 参議院議員会館

内容

「国民健康保険を巡る現状と課題について」、「平成25年度経営所得安定対策の概要」、「人と農地の問題解決に向けた」、「TPP交渉の現状と見通しについて」、それぞれ所管する厚労省保険局国民健康課、農水省経営局経営政策課、および農水省国際部国際経済課から説明を受けながら、勉強会を実施した。

# 平成24年度

新庄市議会は、市から政務調査費（H25からは政務活動会派単位で交付を受けています。会派別の使い道を報告

## 市民・公明クラブ

○平成24年11月26日～27日  
(新潟県長岡市及び三条市)  
内容  
米百俵のまち長岡「熱中！  
感動！夢づくり教育」  
子どもたちの現状と社会背景として学ぶ意識の低下、学力や体力の一極化の傾向、コミュニケーション力などの低下、地域・家庭の教育機能の低下など様々な問題があり、それらを解決するため、やる気や意欲を引き出す方策を実施し、今年で8年目になる。

三条市子ども・若者サポートシステム

組織機構の見直しにより教育委員会に子育て支援課を設置することで、義務教育と子育て支援の連携を図り、担当が一つになることで、窓口が分散され分かりにくかったものが、効率的に行なわれ、市民から分かりやすい「ワンストップの実現を図っております。

小野周一、平向岩雄、  
下山准一、高橋富美子、  
佐藤卓也

○平成24年3月23日～24日  
(東京都及び埼玉県大宮市)  
内容  
首都圏における物品販売について  
埼玉県大宮市、高島屋内で「大東北展」から始まり、山形県のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」や北区赤羽「ふるさと美味しいもん市場」などを含む16ヶ所の物品販売研修視察を行なつてきました。

○平成24年3月23日～24日  
(東京都及び埼玉県大宮市)  
内容  
首都圏における物品販売について  
埼玉県大宮市、高島屋内で「大東北展」から始まり、山形県のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」や北区赤羽「ふるさと美味しいもん市場」などを含む16ヶ所の物品販売研修視察を行なつてきました。

**無会派**  
佐藤 悅子

○調査研究費（交通費）  
平成24年11月5日、千代田区の平田達弁護士に会い、新庄市の中核工業団地の市道廃止についての意見を聞きました。

○調査研究費（交通費）  
平成24年11月5日、千代田区の平田達弁護士に会い、新庄市の中核工業団地の市道廃止についての意見を聞きました。

○その他の経費（郵便費）  
小中一貫校についての学習会の講師の先生に、手紙を送りました。

○その他の経費（郵便費）  
小中一貫校についての学習会の講師の先生に、手紙を送りました。

に承諾はとつてないのではないか」と述べました。

	政務調査費(円)	支出(円)				残額(円)
		調査研究費	研修費	資料購入費等	支出身合計	
開成の会（6人）	360,000	188,580	30,000	0	218,580	141,420
糸の会（6人）	360,000	206,400	153,600	0	360,000	0
市民・公明クラブ(5人)	300,000	299,850	0	0	299,850	150
無会派（1人）	60,000	23,810	32,370	3,820	60,000	0

※残金については、市に返納しました。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に付託された案件の中から1件の審査状況をご紹介します。

### ◆議案第6号新庄市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

担当課より、「本案は、校舎の増改築、国土調査等の理由により変わってしまった地番を正しいものに改めるものである」との説明がありました。

審査に入り、委員から「各学校の位置表記について、なぜ今になっての改正になつたのか」との質疑があり、担当課より、「小中一貫校の敷地について確認したところ、農道の整備によって地番が変わつており、他の学校についても確認したことによる、改正が必要であった」との説明がありました。

また、委員から、「第2条の校名について、公募した校名に桜の字を使った校名が多くあつたが、重複されていない」との質疑があり、担当課より、「桜に対する思いは地元の多くの方が持っている」ということがあるが、地域の歴史や伝統などを捉えながらも萩野地区に1つとなる小学校としての名

称がどうあるべきかといつよつなことも考え方をさせて策定委員及び教育委員会が判断した」との説明がありました。

また、委員からは、「策定委員会に任せているのだから、委員会の協議を尊重すべきではないか。」との意見がありました。

この議案に関して採決した結果、議案第6号については全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会に付託された案件の中から、議案1件、請願2件の審査状況をご紹介します。

### ◆議案第11号新庄市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容としては、定住促進住宅の入居者のうち、中学生以下の子どもがいる世帯に対し、子どもの数に応じて減額して家賃を設定し、子育て世帯の負担を軽減するというのです。

審査に入り、委員からは、「高校まで該当させる考え方はどうか。」「子どもの手当の制度に合わせた年

3月定例会

を開催します

### 開催趣旨

◆請願第1号及び請願第2号TP交渉参加反対に関する件について  
P交渉参加反対に関する件について  
請願の内容が同じであることから、一括して審査を行いました。初めに、請願の紹介議員より、請願の趣旨について、「現在、農産物に関してはあらゆる物品が関税で守られている状況であり、関税が撤廃されることになれば、請願提出者のみならず多くの人が大打撃を受けることになるため、なんどしても阻止しなければいけない。」との説明がありました。

審査に入り、委員からの質疑はなく、採決の結果、請願第1号及び請願第2号は、全員異議なく採択すべきものと決しました。

### 開催日

5/17(金)	雪の里（A班）	萩野地区公民館（B班）
	わくわく新庄（C班）	八向地区公民館（C班）

※開会時間は、全会場午後7時～8時30分です。

当日は、「議会だよ！」N.O.120」をご持参下さい。ご都合のいい会場にご来場下さい。

A班	小閑淳、平向若雄、石川正志、下山准一、佐藤悦子、沼澤恵一
B班	小嶋富弥、奥山省二、遠藤敏信、清水清秋、伊藤操、佐藤義一

C班 森儀一、小野周一、山口吉靜、新田道尋、佐藤卓也、高橋富美子

平成25年3月6日(水) 本合海小学校6年  
**新庄市議会見学の感想**

1. 今日の議員さんの質問や答へのやことりを聞いたびい感じましたか?

○ずばすば言つていてびっくりしました。

○難しかつたけど自分の意見をつらぬいていた。

○身近なことなのに難しかつた。

○同じことを何度も繰り返し過ぎだと思いました。

○議員さんのやりとりが難しかつたけど、だいたいはわかりました。

○どちらも意見を変えないし、ただ言ひ合つてじるようだった。

でも、話し方がうまく、わかりやすく言つてじたと思う。

○議員さん達が話しあっていたのは何だか分からなかつたけど、

「ゴミ袋や雪対策について議論していたのは分かりました。

○難しい言葉がたくさん出てきていたけど、言いたい内容はよく

分かりました。最後の方は少し感情的になつていてびっくりし

ました。

2. あなたが興味があつたのは、  
どんなことでしたか?

○雪かき(雪対策)についての質問です。(2名)

○高齢化社会についての福祉タクシー券の  
発行について(3名)

○高齢者宅の玄関前除雪のことです。

○手を挙げた人に、「くん」と呼ぶのは何で

かなあと思いました。

○ゴミ袋のことは私も高いと思つたことが

あって、興味がありました。体罰の」と

ももつと聞きたかったです。

3. 新庄市や議会に興味を持ったことは  
ありますか?

○お店を増やしてほしい。(4名)

○若い人のためにもスポーツ専門店を増やしてほしい。

○新庄を明るい市にしてほしい。

○街灯を増やして、危険なめにあわないようにしてほしい。(2名)

○遊園地など大きな施設を作つてほしい。

○歩行者道路の除雪を両側してほしい。また、道路に水が出来ないようにしてほしい。

4. 議会を見学して気になつたことは、

○みんながしゃべつてじる言葉の意味がよくわからませんでした。

○議会をしている前の切り替えが早かつた。

○福祉についての問題が多かつた。

○中が広かつたし、興奮しました。

○カメラ・タイマー・議員出席数など、設備が充実していました。

○見学してすぐ広かつたです。話は難しかつたけど少しおわかりました。いつも議員の人たちば、こんなに忙しいんだなと思いました。

○議会を見学して、住みやすい市にしてもらいたいと思いました。

○議員さん達はとても難しいことを話しあっていて、頭が混乱しました。

そうでした。

○私は時間に合わせて進めていくのに驚きました。決まつたら終

わるといつぶつにしているかと思いました。始まる前は二〇二

「笑つていたのに、始まつたらキリッとしていて、切り替えが

すぐ」と思いました。また、机の並び方が、質問する側と議長

十答える側で向かい合つて座つていたのが話しやすそうだなあ



# 編集委員を終えて

議会だよりの編集委員として仕事をさせて頂いて思ったことは、自身の勉強になったと言うことです。思えば、2年前 右も左も分からなかつた新人議員が、編集を通して、自分であればどのような質問や発言をすべきか分かつたからです。

前にも書きましたが、議会だよりは、紙面で議会の様子をお知らせ出来る唯一の方法です。皆様から最後のページまで目を通すける様な議会だよりをこれからも作つていく事が、編集委員の職責であるうと痛感しています。

石川正志

社会の国際化が一層進展するなかにあって情報化社会とまで言われる時代になりました。本市議会にも、議会報編集委員会が設置されており、議会で選任された6名の委員で議会毎の議会をより編集し、市民の皆様に報告しております。この議会だよりは、申し上げるまでもなく、市民と議会を結ぶかけ橋として重要な役割を持つております。議会を傍聴に来られない市民のため、議会

「議会の仕事が見えない」という市民の皆さまからの声が多くあります。その声を受け、当議会はまず、改革検討会を立ち上げ、平成23年6月には、議会改革特別委員会を設置し、現在まで鋭意検討を重ねています。私たちは、より市民に見える議会、市民の声を反映する議会を目指し、議会基本条例の策定を柱とした改革を進め、具体的な活動として、当議会初の「議

審議の内容を、つぶさに、しかも、より早くお知らせすることが、私共委員の使命であると思い努力しております。市民に読まれ、親しまれる広報紙づくりに一層努力しなければと思いますが議会だよりの編集の奥深さを痛感しているところもあります。どうぞ、市民の皆様におかれましても議会に対する一層の関心をお寄せいただければと思うところであります。

平向岩雄

## 議会を傍聴しませんか

ー市民の皆さんのお見方が反映されていますかー

どなたでも議会を傍聴することができます。当日直接議会事務局にお越しください。受付簿に住所・氏名を記入していただく他は、面倒な手続きはありません。

(傍聴席に限りがありますので、団体の場合は

事前に議会事務局までご連絡ください。)

3月定例会の傍聴者数は16人でした。

## 6月定例会の予定

6月7日(金)	開会
8日(土)	休会
9日(日)	休会
10日(月)	一般質問
11日(火)	一般質問
12日(水)	常任委員会
13日(木)	常任委員会
14日(金)	休会(本会議準備のため)

長く、寒く雪の下にあった大地も春のやさしい陽光に照らされ息を吹き返し、新庄人が待ちかねた季節が訪れました。

新しい希望と期待と少しの不安を抱えて新一年生が大きな声で「おはようございます」と挨拶して家の前を元気に、そして晴れやかに登校していきます。あの背負つているランドセルが大きく感じられるなくなるのももう少しでしょう。

伊藤操

今、私はめまぐるしく変わる社会の中でどのように考え、どのような生き方をすればいいのか、最も問われる時代になりました。そのため、正しい情報を発信し、そしてと共に行動する。議会だよりは市民の皆さんにとって、より良い羅針盤となるように頑張り続けます。

「議会だより」の編集に関わり2年が経過しました。市民の皆様に議会への理解が深まるようにと願いながら、市政に関する情報をわかりやすくお届けできるよう、委員会一同懸命に取り組んでまいりました。

東日本大震災の復興、原発問題、TPP参加、消費税増税等、溢れんばかりの情報が私達のまわりを

まもなく春の農作業も始まり、雪の下にあった田んぼの耕起も始まります。雪の下で冷たくなつていた農地が耕され太陽の光を浴び湯気をたて大地の匂いを感じさせられるときに新庄に生きていることを感謝を持って喜びます。

そして祈ります、今年も豊穣であります。その声を見て同感、ウンウンと頷いています。議会だよりを担当して10年、定例会が終わる毎に議会での発言のやりとりを「分かりやすく」をモットーに編んできたつもりです。いやはや、ホントにむずかしい。内容をかみくだくことはもとより、記事バランスとレイアウト、特に表紙写真の扱いは近年気を配っています。

佐藤義一

議会は、行政運営を市民目線に沿つてチエック・提案し、より良い市政を実現するために改革を進めています。議会だよりも、より「見てもうえる、読んでもうえる」紙面づくりに努め、この先、少しずつ変えていくことを確認しているところです。皆さん、ぜひご意見・ご感想をお寄せ下さい。謝々。

遠藤敏信

※ 一般質問者数により若干までとなっています。  
日程が変わります。

18日(火)  
最終日  
請願締切 5月28日(火)